

テーマ:『 自然事象に主体的にかかわり、科学的な見方・考え方を育てる理科学習指導 』

八女郡広川町立

中広川小学校

Tel. 0943-32-0039

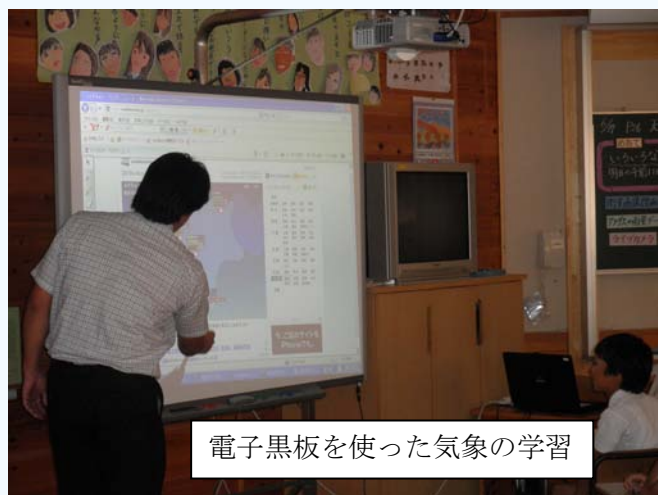
担当者: 笹原 正孝



光電池を使った学習



バッタの観察の学習



電子黒板を使った気象の学習



植物の水の通り道の学習

■実践内容:

本校では、「自然事象に主体的にかかわり、科学的な見方・考え方を育てる理科学習指導」をテーマに掲げ、地域の自然のよさにふれながら、基礎的基本的な知識・理解(自然事象におけるきまりや性質・観察や実験技能)、見方・考え方(科学的な見方・考え方)、思考方法(類推的・帰納的・演繹的な考え方)、表現方法(言葉、図、実験操作、グラフ)を高めるため、スモールステップ活動で確実に身に付けるようにしたり、習得したそれらをもとに、類似事象や新たな問題事象を自力解決したりできるようにした。

■実践成果:

- 問題に出会った時に、既習経験をもとに、見通し(予想・方法・視点)を立て、自ら解決しようとする態度が育った。
- 飼育栽培活動では、(アサガオ、ツルレイシ、色々な昆虫)とかかわり、教材以外の動植物への関心も高まった。
- 燃焼実験、光電池の学習、気象学習など、自然の事物・現象の学習を通し、環境問題に興味・関心を持つとともに地域の自然や環境を守りたいという意欲が高まった。

■実践ポイント:

理科嫌いが指摘される中、地域素材を生かした体験を工夫する取り組みを通して、理科好きな子が育ち、理科学習の指導技術が高まった教師が育っている。引き続き、理科教育の振興を図るための努力を続けていきたい。